

富良野市の健全化判断比率（令和4年度）

1. 健全化判断比率の状況

	富良野市	早期健全化基準（市町村）	財政再生基準（市町村）
実質赤字比率 ・ 一般会計等の実質赤字の比率	- （赤字なし）	財政規模に応じ 11.25～15% <u>（富良野市：13.67%）</u>	20%
連結実質赤字比率 ・ 全ての会計の実質赤字の比率	- （赤字なし）	財政規模に応じ 16.25～20% <u>（富良野市：18.67%）</u>	30%
実質公債費比率 ・ 公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率	7.8%	25%	35%
将来負担比率 ・ 地方債残高の他一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	52.5%	350%	-
公営企業における資金不足比率 ・ 公営企業ごとの資金不足の比率 （水道、ワイン、簡水、下水）	- （各々の会計において資金不足なし）	20%	-

2. 健全化判断比率における各指標について

(1) 実質赤字比率（総括表②）

(千円)

総括表②

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額 } (\Delta 157,470)}{\text{標準財政規模 } (8,300,778)} = \Delta \mathbf{1.89\%} \quad (\Delta \text{負の値は黒字を示す})$$

標準財政規模 (8,300,778)	
標準税収入額	3,335,766
普通交付税額	4,867,845
臨時財政対策債発行可能額	97,167

(2) 連結実質赤字比率、資金不足比率（総括表②、2①表）

(千円)

1①表、1②表

2①表

総括表②

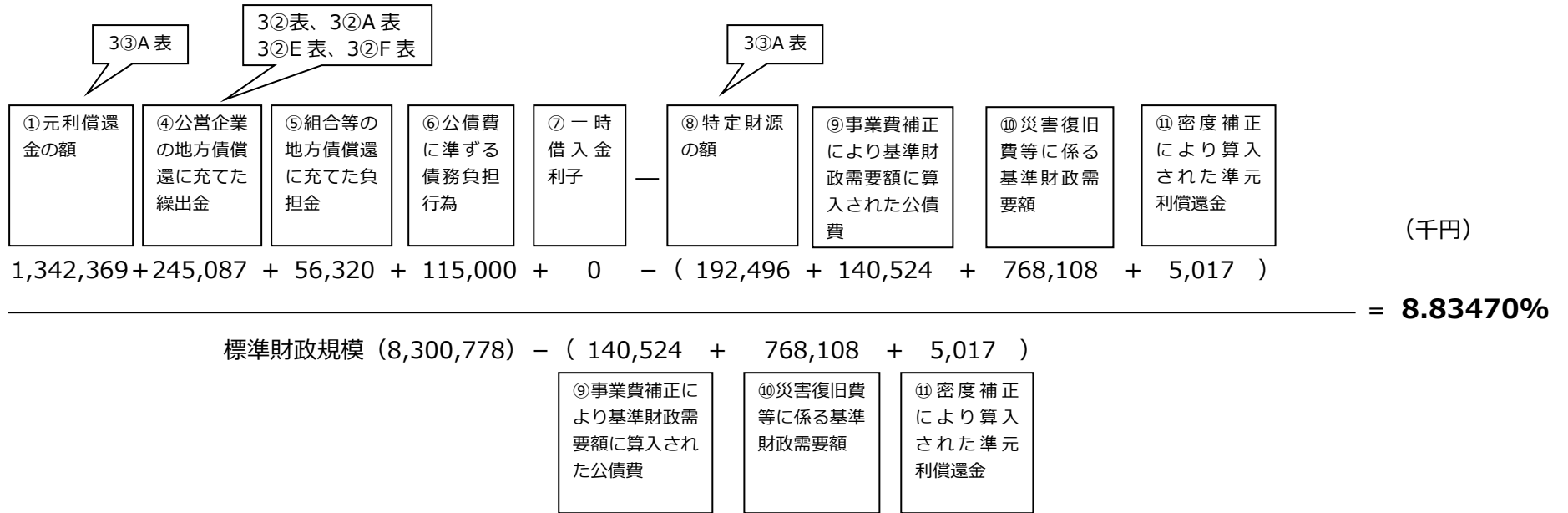
$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計・特別会計の実質収支、企業会計の資金不足（剰余）額の合計 } (\Delta 1,613,929)}{\text{標準財政規模 } (8,300,778)} = \Delta \mathbf{19.44\%} \quad (\Delta \text{負の値は黒字を示す})$$

全会計において黒字 【水道、下水、ワイン、簡水 各会計において資金不足なし】

(3) 実質公債費比率（総括表③）

3カ年平均値：7.8%（令和2年度：6.91360%、令和3年度：7.71353%、令和4年度：8.83470%）

参考（下記数式は令和4年度）



(4) 将来負担比率（総括表④）

